

第12回伊賀市歴史的風致維持向上協議会会議録

日時 2021（令和3）年1月20日（水）14:00～15:50

場所 伊賀市役所5階 501会議室

出席者 菅原洋一（会長 三重大学名誉教授）

浅野 聡（副会長 三重大学大学院工学研究科教授）

《市民団体代表等》

松生龍治（上野西部地区住民自治協議会長）

奥川繁也（島ヶ原地域まちづくり協議会副会長）

安本秀男（阿保地区住民自治協議会長）

滝井利彰（伊賀市文化財保護審議会長（建造物担当））

《行政関係者》

藤森正也（三重県県土整備部都市政策課長）

林 幸喜（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）

代理 伊藤裕偉（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課有形文化財班長）

東 弘久（伊賀市産業振興部長）

山本 昇（伊賀市建設部長）

中林靖裕（伊賀市教育委員会事務局長）

《委員随行》

加藤祐也（三重県県土整備部都市政策課主任）

《事務局》

笠井賢治（伊賀市教育委員会事務局文化財課長）

福島伸孝（伊賀市教育委員会事務局文化財課主幹）

堀川敬二（伊賀市産業振興部中心市街地推進課長）

深尾竜也（伊賀市建設部都市計画課主幹）

福岡一輝（都市計画課）

1. 開会挨拶

中林事務局長

2. 報告事項

（1）事業経過

《福島主幹が説明》

（委員から特に意見なし）

3. 協議事項

(1) 中間評価について

《資料1（伊賀市歴史的風致維持向上計画中間評価

（平成28年度～令和2年度【暫定版】）（原案）により福島主幹が説明》

（質疑応答）

《方向別シート II 歴史的な町並みの保存・活用》

浅野委員：都市計画課において、風景づくり協議会が再度立ち上げられて、年末に設立総会を開催した。町並み保存のハード事業を支える取り組みとして記述いただきたい。

《方向別シート III 歴史的遺産周辺の環境整備》

滝井委員：空き家バンク制度の取り組みは承知しているが、市街地における取り組み成果はどのような状況か。

事務局：取り組み成果の数字については、担当課に照会する。

事務局（堀川課長）：空き家バンクに登録して成約する移住者の多くは、程よい田舎で家庭菜園を営まないなどの要望があって、住居として成立している背景がある。一方、城下町区域における空き家は、空き店舗が多くて、住居ではない物件が対象として多い。そこで、市街地に多い空き店舗の調査を始めたところである。

浅野委員：実際には、城下町区域でも郊外においても空き家の登録制度は進めている。

《波及効果別シート》

浅野委員：②の取り組みの項目に「景観計画」とあるが、それとは別の計画もあるので、記載して欲しい。

奥川委員：島ヶ原区域には、文化財も多くそれらを訪れる観光客も多い。それらについても記載をして欲しい。

伊藤委員：令和2年は、コロナ禍により観光客は減少しているので、そのことを記述すべきである。

事務局：この計画は、コロナ禍以前に作成されたものであるもので、コロナ禍の最中にある今や、コロナ禍以後の評価の在り方については、検討すべきと考えている。

《歴史的風致別シート 上野天神祭にみる歴史的風致》

滝井委員：令和2年の天神祭では、コロナ禍の中、さまざまな取り組みが行われたので、そのことについても記述すべきである。

事務局：祭礼当日は、お囃子の披露や文化財の展示など、さまざまな取り組みが行われた。そのことについて、記述します。

《歴史的風致別シート 観菩提寺の修正会にみる歴史的風致》

奥川委員：観菩提寺の修正会では、若者の参加も見られ積極的な取り組みが行われているが、修正会の維持・継続には経費がかかるので、それらの補助をお願いできないか。まら、周辺の歴史的遺産についても応援して欲しい。

事務局：さまざまな取り組みがあることは承知している。支援の在り方については可能であることと、そうでないことを整理して取り組みたい。

《歴史的風致別シート 鶯宮神社の秋の例大祭にみる歴史的風致》

奥川委員：中間評価シートに貼付してある写真については、4頭の獅子が明瞭に見えるものを持っているので、差し替えて欲しい。また、今後の方向性のなかでは、行事の維持・継承に向けた取り組みをお願いしたい。

《歴史的風致別シート 伊賀焼にみる歴史的風致》

伊藤委員：②維持向上の経緯と成果のなかで、長谷園の美観事業を記載している。屋根葺き替え事業実施の結果、美観は向上しているので、「状況の変化」の項目は「維持」ではなく「向上」としてはどうか。

《住民評価・協議会意見シート》

① 住民意見

松生委員：市街地において空き家が増加しつつある。町並みの維持が課題となっている。景観を維持するために良好な建物が残っているが、残す努力が必要である。また、天神祭りは、国補助に加え市単費の補助も受けているが、行事の継承には、引き続き支援が必要である。コロナ禍を見据えて考える必要がある。

奥川委員：大和街道島ヶ原宿区域には、さまざまな文化財とともに歴史性がある。それらをしっかりと位置付けて評価して欲しい。個別の案件は、今後協議して欲しい。

安本委員：初瀬街道阿保宿区域では、空き家が目立ってきた。古民家として再生するのは、躊躇もあって、賑わいを取り戻すのは難しい。青山讃頌舎ができた。また、川上ダムも含めて賑わいの核とできないか。

② 協議会におけるコメント

伊藤委員？：コロナ禍のなかでの取り組みを書き込み、取り組みを評価すべきと考える。

菅原会長：島ヶ原区域・阿保区域については、事業化に向けての調査などの取り組みが、進めているが、さらなる取り組み、現状把握が必要である。

(2) 計画変更について

《様式1・2により福島主幹が説明》

(委員から特に意見なし)

4. その他

事務局：本日の意見集約後、中間評価シートの提出にいたるまでの過程で、中間評価シート及び計画変更内容については、菅原会長に了解を得て提出をしたい。

菅原会長：事務局から提案のあった、今後の提出に至るまでのスケジュールについていかがですか。

(委員から特に意見なし)

5. 閉会挨拶

中林事務局長

15:50 終了